



ICANN80 政府諮問委員会 (GAC) 会合報告

2024年7月25日

総務省 総合通信基盤局 電気通信事業部 データ通信課

課長補佐 片柳 早苗

目次

1. 政府諮問委員会（GAC）会合の概要
2. ICANN GAC ハイレベル政府会合の概要
3. GAC会合での主な議題
 - （1）新gTLDの募集に向けた整理等
 - （2）DNS不正利用（DNS Abuse）
 - （3）登録データリクエストサービス（RDRS）
4. その他



会場：キガリコンベンションセンター

1. 政府諮問委員会（GAC）会合の概要

- ① 開催日：2024年6月10日（月）～6月13日（木）
※これに先立ち、ICANN GAC ハイレベル政府会合が6月9日（日）に開催。

- ① 開催地：ルワンダ共和国 キガリ市（現地とオンラインのハイブリッド開催）

総務省（データ通信課）から、西潟課長（当時）及び荻原官が現地参加
片柳補佐及び望月補佐（当時）が主要なGACセッションにオンライン参加

- ③ 参加国・機関：90の国・地域、9の団体（オブザーバー）が出席

- ④ 会合における主な議題

- （1）新gTLDの募集に向けた整理等
- （2）DNS不正利用（DNS Abuse）
- （3）登録データリクエストサービス（RDRS）

等



2. ICANN GAC ハイレベル政府会合の概要

- GACに参加する国・地域及び国際機関の高官81名が参加。
- アジェンダ：
 - セッション 1 ICANNとマルチステークホルダーモデル
 - セッション 2 協力とガバナンス
 - セッション 3 デジタル・インクルージョンの推進
 - セッション 4 アフリカにおけるMeaningful Connectivity発展のための支援
- 総務省からは国際戦略局野村次長が出席し、以下のとおり発言。
 - ✓ ICANNが直面する課題等を指摘する米国の発言に対して支持を表明（セッション 1）。
 - ✓ マルチステークホルダーアプローチの重要性を強調するとともに、ICANNの活動に対する支持、昨年京都で開催したIGF会合への謝意を表明。G7群馬高崎デジタル・技術大臣会合の成果やGDCに対する我が国のインプットを紹介（セッション 2）。
 - ✓ 我が国が実施しているアフリカ支援（HAPSによる5G通信試験、遠隔医療や農業ICTの実証、研修等）、来年8月に横浜で開催予定のTICAD9を紹介（セッション 3）。



3. 主な議題 (1) 新gTLDの募集に向けた整理等

今回のセッション概要等

- 2026年4月を目途に、新gTLDの募集が行われる方向で取組が進められている現状を共有。
- 発展途上国からの申請に対する支援（Applicant Support Program）や申請者が自ら宣言する約束事項（PICs/RVCs）の取扱い、申請競合の場合の解決策の在り方等について議論。
（PICs : Public Interest Commitments、RVCs : Registry Voluntary Commitments）
- 2024年6月8日の理事会決議では、新gTLDの募集においてコンテンツを制限する（restrict content）PICs/RVCsは認められない方針が示された。
- GACコミュニケにおいては、
 - ✓ Applicant Support Programについて、期限内の申込みを先着順で処理しないこと、プライベートオークションを申請競合の場合の解決策としないようにすべきこと等を理事会に勧告。
 - ✓ PICs/RVCsの取扱いについて、新gTLDの募集の開始までに「restrict content」の具体的な内容を明らかにするガイダンスを作成する必要性を指摘。
- 新gTLDの募集に向けた取組の動向を引き続き注視。

3. 主な議題 (2) DNS不正利用 (DNS Abuse)

2. ICANN80 GACコミュニケ (該当箇所抜粋)

IV. Issues of Importance to the GAC

1. DNS Abuse

The GAC welcomed a session focused on DNS Abuse issues and trends in Africa. Speakers representing regulatory agencies and ccTLD operators in the Africa region shared the view that, given the growth of the number of domains in the region, DNS Abuse will likely become a growing challenge and priority. Speakers shared different examples of phishing cases in the financial sector. One speaker noted that the recent DNS Abuse contract amendments at ICANN for gTLD registries and registrars will likely have a positive impact on mitigating DNS Abuse in the region. Speakers in the session also urged further collaboration across the African region to address DNS Abuse, including among ccTLD operators. The GAC would welcome such learning opportunities from other regions on good practices to prevent and mitigate DNS Abuse at future ICANN meetings.

3. 主な議題 (3) 登録データリクエストサービス (RDRS)

今回のセッション概要等

- GDPRをはじめ個人データの保護が法制化されたことに伴い、gTLDのドメイン名の登録者の連絡先が原則としてWHOISで開示されていない現状に対し、参照者の資格等に応じてこれらを限定的に開示するシステムとして、登録データリクエストサービス (RDRS) が昨年11月にパイロット運用を開始。
- 本年4月時点でのRDRSの利用状況について、米国 (FBI) から報告。ICANNが提供する「Registration data lookup tool」で検索されたドメイン名のうち、
 - ✓ 実際にRDRSを通じてデータ開示のリクエストが送信されたのは約16%。
 - ✓ 約59%はRDRSにそもそも対応していない (例: ccTLD) 。
 - ✓ 最終的に「Approved」とされたのは約3% (データ開示のリクエストの約17%) 。
- GACコミュニケにおいて、RDRSの周知活動を継続していくことの重要性を強調するとともに、「Registration data lookup tool」にRDRSのリンクを提供したならば、パイロット運用に気がついていない潜在的なユーザーにリーチできること等を指摘。

4. その他

1. 能力開発ワークショップ

- ICANN80キガリ会合の二日目（2024年6月11日）に開催。以下の事項について、それぞれ専門家から説明。
 - ✓ ccTLDの管理・委任、ccTLD運用者の役割、ccTLD運用者の評価基準、ICANNやIANA/PTIとの関係等
 - ✓ Smart Africa及びCoalition for Digital Africaの取組

2. GAC Strategic Plan/Annual Plan

- 現議長下の新しい取組として、GACにおいて先を見越した（proactive）議論を行うこと等を目的とした今後4年間のGACの中長期戦略（Strategic Plan）を検討。ICANN79サンファン会合後も継続的に議論し、ICANN80キガリ会合前に策定。
- 当該Strategic Planを踏まえ、ICANN80キガリ会合において2024年/2025年のAnnual Planを議論し、策定。



ご清聴ありがとうございました



(出典) キガリ市Facebook